

「見直そう！脳神経系患者の早期離床に向けた臨床判断と実践」

～診療報酬改定を受けて～

今年度は、(令和6年度)「診療報酬改定」が施行されました。患者のADLの維持、向上等を目的に、早期離床・早期退院がさらに推奨される内容となっています。その一方で、7対1病棟で看護必要度B項目（患者のADLに伴う看護ケアの評価）が除外されました。それでも、急性期医療における脳神経看護の臨床は看護本来のケアを大事にし、かつ医療のニーズに対応して患者の回復システムを促進することが期待されます。

今年度の研修会（セミナー）では、脳神経患者の看護実践において早期離床・早期退院に向けて看護専門職としての適切な臨床判断と看護実践を見直すとともに、確かな実践能力を身に付けるプログラムを提供します。皆様のご参加をお待ちしております。

開催日時：2024年11月30日（土） 14:00～16:30

会場：千里金蘭大学：講義室&実習室 \*実習室は、土足禁であるため内履き持参

内容：

13:30～開場 受付開始

14:00～ 開会

14:05～14:25 「診療報酬改定に伴う看護活動」  
講師：應本 勝美氏（多根総合病院）

14:30～15:00 「術後超急性期から早期離床につなげる臨床判断と看護の実際」  
講師：竹末 のり子氏（国立循環器病研究センター）

（休息・移動） ※実習室に移動します。

15:15～16:15 「早期離床に関する知識&技術セミナー」  
講師：中路 一大氏（矢木脳神経外科病院・理学療法士）

16:20～ 閉会

定員：60名（先着順）申込方法：※事前申し込みQRコード



参加費：日本脳神経看護学会関西地方部会会員 無料

他の地方部会会員及び非会員 2000円（当日徴収）

<主催 日本脳神経看護学会 関西地方部会

共催 脳卒中ケア研究会>